

寄付つき商品のご紹介

お買いものをしていただくと、その売上げの一部がさぽーとほっと基金に寄付され、町内会やボランティア団体、NPOなどが行う、札幌のまちを笑顔にする活動に役立てられます。

ブーツやシューズで子どもたちを支援

深瀬商事株式会社 様

婦人靴やバッグなどを販売する深瀬商事株式会社様では、寄付つき商品用の靴を開発され、その売上げの一部を「子どもの健全育成」の分野を指定してご寄付いただいております。子どもたちを支援する団体の活動を応援する思いからはじめられた取組で、これまで「BOGS ボグス」などの売上げの一部をご寄付いただきました。



【取扱店舗】
UNISON WITH STELLAR PLACE店/recolte アピア店/little walk to a parkイオン発寒店・マルヤマクラス店/BOSTON 西友手稲店

「寄付つきドリップカフェ」で福祉分野に継続した支援を展開

株式会社宮田屋珈琲 様

株式会社宮田屋珈琲様では、1個の売上げごとに1円がさぽーとほっと基金に寄付される仕組みの商品「寄付つきドリップカフェ」を、宮田屋珈琲各店舗で販売していただいております。宮田屋珈琲様は、「保健、医療、福祉の増進」の分野を指定してご寄付をいただいております。



オレンジリボンキャンペーンを通じた子どもたちへの支援

ポッカサッポロ北海道株式会社 様

ポッカサッポロ北海道株式会社様では、同社の自動販売機を通じ「子ども虐待防止オレンジリボン運動」を応援しており、この自動販売機の売上げの一部を「子どもの健全育成」の分野を指定してご寄付をいただいております。



自動販売機を通じ、広く地域や市民の関心を高め、児童虐待の未然防止・早期発見につながることを願う取組です。

「さっぽろール®シリーズ」でまちづくりの推進を支援

株式会社HYK 様

株式会社HYK様は、札幌マドレーヌ本舗マドレーヌを運営し、北海道産ゆめぴりかを100%使用した米粉のまどれーぬ®などを販売しており、「さっぽろール®シリーズ米粉のロールケーキ」の売上げの一部をさぽーとほっと基金へご寄付いただいております。また、「食と福祉と環境を結ぶ」をテーマに、福祉や子ども・子育てを始めとする様々な活動にも取り組まれており、令和3年度より「さっぽろまちづくりスマイル企業認定制度」の認定企業となっております。



さぽーとほっと基金へのクリック募金

「さっぽろまちづくり活動情報サポートサイト(まちさぽ)」では、クリック募金紹介ページを設置しています。掲載されている協賛企業のバナーをクリックすると、クリックした方に代わって協賛企業がさぽーとほっと基金へ5円の寄付を行う仕組みです。クリック募金へ参加していただく協賛企業を募集しております。詳しくは、「まちさぽ」内に設置されているクリック募金紹介ページをご確認ください。



- クリック募金協賛企業(令和5年9月時点)
- HRMホールディングスグループ
 - 株式会社水草工業
 - 札幌市管工事業協同組合
 - 株式会社HYK
- まちさぽ クリック募金 検索

発行 札幌市市民文化局市民自治推進室市民活動促進担当課

TEL:011-211-2964 FAX:011-218-5156

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎13階

E-mail:shimin-support@city.sapporo.jp

https://www.city.sapporo.jp/shimin/support/kikin/

さぽーとほっと 検索



さっぽろ市
01-002-23-1970
R5-1-135

みなさまの寄付でまちづくりを応援する仕組み さぽーとほっと基金 令和4年度年報



札幌市

札幌市のまちづくり活動に 多大なるご支援・ご協力をいただき、 本当にありがとうございます。

令和4年度のさぼーとほっと基金は、これまでと同様に多くの市民や企業の皆様から善意のお気持ちをいただき、まちづくり活動の支援に役立てることができました。

平成20年度の創設より多くのご寄付を継続的かつ安定していただいております。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

市民、企業、行政の総力である「市民力」を結集し、心豊かで明るい札幌を将来の世代に引き継いでいくために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



札幌市長 秋元 克広

みんなで札幌のまちづくりを応援する 寄付の仕組みがあります

さぼーとほっと基金は、市民・事業者の皆様の寄付によって、福祉や子育て、環境の保全、安全・安心、被災者支援など札幌のまちづくり活動を支援する制度です。

まちづくりは“笑顔づくり”

「私のまち」を、今よりももっとも好きになれるように、そしてまわりの人に好きになってもらえるように、いろいろな活動を行っている人たちがいます。それらの活動は、医療・福祉であったり、環境であったり、教育であったり、分野や取組の内容はさまざまですが、その活動はどれも「笑顔」があふれる社会につながっているのだと思います。もっと住みよいまちにするために、そして、もっとまちに笑顔があふれるように、まちづくりとは、そんな思いで行われるすべての活動だと考えます。



令和4年度 さぼーとほっと基金の実績



● これまでのさぼーとほっと基金の実績 ●

	平成20~28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	累計
寄付	761,701,596円	112,499,814円	70,748,099円	126,552,662円	80,130,453円	69,168,404円	79,328,811円	1,300,129,839円
	2,427件	250件	387件	525件	402件	717件	1,561件	6,269件
	個人	634	109	234	279	292	622	1,439
企業・団体	1,551	123	129	225	88	74	100	2,290
助成	536,625,629円	49,553,748円	67,278,042円	75,657,759円	66,746,680円	46,404,940円	49,907,162円	892,173,960円
	821団体	126団体	139団体	153団体	132団体	100団体	130団体	1,601団体
	926事業	140事業	152事業	164事業	141事業	109事業	138事業	1,770事業

※複数回寄付をしてくださる個人・企業・団体がいらっしゃるため、寄付件数と個人・企業・団体別の寄付件数は一致しておりません（寄付件数は延べ）。

さぼーとほっと基金の仕組み

「さぼーとほっと基金」は、皆様の寄付で札幌のまちづくり活動を支える制度です。



さぼーとほっと基金
マスコットキャラクター
キャッピー

さぽーとほっと基金の特長 その1 思いにかなう寄付の行き先を選べます。



寄付先を下記の団体指定・分野指定・テーマ指定の3つの中から選べます。
「団体」、「分野」、「テーマ」を指定できるので、「あのまちづくり活動を応援したい」というあなたの思いが尊重されます。

団体指定	分野指定
<p>寄付したい団体を指定できます。 ※基金に登録されている団体に限ります。 ▼詳しくはこちら https://www.city.sapporo.jp/shimin/support/kikin/tourokudantai/index.html</p>	<p>【選べる4分野】以下のまちづくり活動の分野から指定できます。</p> <p>①保健、医療、福祉の増進 ②まちづくりの推進 ③文化・スポーツ・観光・経済等の振興 ④子どもの健全育成</p>
<p>テーマ指定 以下のテーマから指定できます。 【活動テーマ】 ●新型コロナウイルス感染症対策 市民活動 ●その他の災害被災者支援</p>	<p>①～④の各分野の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動</p> <p>●環境の保全 ●農山漁村または中山間地域の振興 ●地域安全 ●男女共同参画社会形成の促進 ●消費者の保護</p> <p>●国際協力 ●経済活動の活性化 ●科学技術の振興 ●職業能力開発、雇用機会拡充</p>



さぽーとほっと基金の特長 その2 税負担が軽減されます。



法人であれば法人税が、個人であれば所得税と個人住民税が軽減されます。



「ふるさと納税ワンストップ特例制度」の申請が可能です。詳細は <https://www.city.sapporo.jp/somu/kifu/tax/index.html>

////// 寄付していただいた場合 //////

<p>冠基金を設置 寄付額が個人500万円以上、企業等100万円以上の場合、ご希望により寄付者、企業のお名前等を冠した冠基金を時限的に設置します。</p>	<p>お名前を公表 ご希望により、お名前や企業名を札幌市のホームページや年報などでご紹介します。</p>	<p>ホームページで報告 寄付により、どのようなまちづくり活動が行われたかを、ホームページ上で報告します。</p>	<p>感謝状を贈呈 5万円以上ご寄付いただいた個人や団体に対して、感謝状を贈呈します。</p>
---	--	---	---

////// 寄付の方法 //////



////// 新聞掲載・ホームページで紹介 //////

企業などの社会貢献の取組は、ホームページで紹介しているほか、新聞にも掲載され、広く市民の方にお知らせしております。

新聞への掲載

ホームページで紹介

2022年9月8日付 北海道建設新聞社

2023年12月1日付 北海道建設新聞社

2023年12月27日付 北海道建設新聞社

冠基金のご紹介

札幌市では、市民まちづくり活動を応援するために、個人の方または企業様からいただいた一定額以上のご寄付に対し、寄付者のお名前等を冠した「冠基金」をさぼーとほっと基金内に設置しています。いただいたご寄付は、指定いただいた団体や公募により助成が決定した団体のまちづくり活動の事業費に、助成されています。

冠基金名	基金設置年度	寄付者
札幌生コンクリート協同組合こども育成基金	令和4年度	札幌生コンクリート協同組合 様
株式会社宮川建設こども基金	令和4年度	株式会社宮川建設 様 宮友会 様 株式会社宮川建設安全衛生協力会 様
あおぞら銀行札幌支店60周年記念 まちづくり応援基金	令和4年度	株式会社あおぞら銀行札幌支店 様
さくら佐藤建設株式会社 夢 みんなのまちづくり応援基金	令和2年度	さくら佐藤建設株式会社 様
札幌日信電子 50th まちづくり応援基金	令和2年度	札幌日信電子株式会社 様
北ガス 札幌市を元気に!まちづくり応援基金	令和2年度	北海道ガス株式会社 様
北央道路工業株式会社 地域あんしん基金	令和元年度	北央道路工業株式会社 様
エスエー こども応援基金	令和元年度	有限会社エスエービル 様
北電力設備工事(株)60周年記念 まちづくり基金	令和元年度	北電力設備工事株式会社 様
道路工業株式会社 夢クリエイティブ基金	令和元年度	道路工業株式会社 様
「あなたが健康だと、だれかがうれしい」健康応援基金	令和元年度	SOMPOひまわり生命保険株式会社 様
あいおいニッセイ同和損保 環境基金	令和元年度	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 様
「安田・三兼」まちづくり応援基金	平成30年度	安田興業株式会社 様 三兼建設工業株式会社 様
長内 芸術振興基金	平成30年度	長内 様
新弘設備工業55周年記念 まちづくり基金	平成30年度	新弘設備工業株式会社 様
株式会社水章工業 こども基金	平成29年度	株式会社水章工業 様
さくらマネジメントグループ基金	平成29年度	税理士法人さくら総合会計 様 株式会社さくら総合会計M&Aセンター 様 道央情報サービス協同組合 様 エス・バイ・エス事業協同組合 様 庵原 宏章 様 庵原 律子 様
アリヤス基金	平成29年度	株式会社アリヤス設計コンサルタント 様
北海道循環器病院 子どもさぼーと基金	平成28年度	大堀 克己 様
太陽グループ3億円基金	平成28年度	株式会社太陽グループ 様 東原 俊郎 様
株式会社フォルテック100周年記念こども基金	平成28年度	株式会社フォルテック 様 フォルテック協力会 様
札幌クリーニング協同組合環境美化基金	平成28年度	札幌クリーニング協同組合 様
アサヒ住宅福祉応援基金	平成27年度	アサヒ住宅株式会社 様
HRMホールディングスグループまちづくり応援基金	平成27年度	HRMホールディングス株式会社 様 北海道ロードメンテナンス株式会社 様 ロード機工株式会社 様 北海道ロード運輸株式会社 様 大善建設株式会社 様 ダイワ整備機工株式会社 様
札幌市管工事業協同組合あんしん基金	平成27年度	札幌市管工事業協同組合 様
明日佳グループ スポーツ振興基金	平成27年度	明日佳グループ株式会社 メディカルサポート 様 小野寺 眞悟 様
オークまちづくり元気基金	平成26年度	株式会社オーク 様 酒井 和子 様

冠基金名	基金設置年度	寄付者
ひまわりピアサポート基金	平成26年度	木村 邦弘 様
小金湯さくらの森支援基金	平成25年度	札商・小金湯さくらの森募金協力会 様
北海道自転車産業協会まちづくり基金	平成25年度	財団法人北海道自転車産業協会 様
工藤桂一まるやま動物園応援基金	平成24年度	工藤 桂一 様の遺産
松前孝子こども基金	平成24年度	松前 孝子(こうこ) 様
CGCこども基金	平成22年度	株式会社北海道シジシー 様
イオン環境基金	平成22年度	イオン北海道株式会社 様 マックスバリュ北海道株式会社 様 株式会社ダイエー 様 株式会社メガスポーツ 様

基金を活用して社会貢献に取り組む企業・団体

地域とともに成長していく、企業・団体価値を高める
社会貢献活動を目指して

企業や団体の社会的責任が強く問われるようになった現在、社会貢献活動は、単なる慈善事業を越えて、事業者が地域とともに持続・発展していくために必要不可欠な「本業」の一つとなりつつあります。ここでは、地域とともに成長する企業・団体を目指して、さぼーとほっと基金への寄付を通じて社会貢献活動に取り組んだ事例を紹介します。



オークまちづくり元気基金

地域とともに札幌のまちを元気に
株式会社オーク 様



公共施設・商業施設等のボイラー及び圧力容器定期検査、整備工事、暖房設備及び各種配管工事など、高い技術力で道内全域をカバーする株式会社オーク様には、これまでも福祉や地域のまちづくり活動に様々な形でご支援をいただいておりますが、亡くなられた株式会社オーク代表取締役会長の故酒井常雄様の財産を、地域社会発展のために役立ててほしいという思いから、さぼーとほっと基金にご寄付をいただき、平成26年度に冠基金「オークまちづくり元気基金」を設置していただきました。その後継続してご寄付をいただいております。主に西区で行われるまちづくり活動へ助成させていただきます。

マークは、冠基金です。

👑 HRMホールディングスグループまちづくり応援基金 👑

みちでふれあうまちづくり

HRMホールディングス株式会社様 北海道ロードメンテナンス株式会社様
 ロード機工株式会社様 北海道ロード運輸株式会社様
 大善建設株式会社様 ダイワ整備機工株式会社様



今年で創立5周年を迎えるHRMホールディングス株式会社様は、私たちの生活基盤となっている道路を、より快適に利用できるようにと、道路維持のプロフェッショナルとして事業を行われています。
 日頃から小学校と連携し交通安全運動などを行っており、平成27年度に設置いただいた冠基金「HRMホールディングスまちづくり応援基金」への追加のご寄付を通じて、継続してまちづくりを支援いただいています。

👑 あおぞら銀行札幌支店60周年記念 まちづくり応援基金 👑

持続可能な環境・社会を目指したまちづくりを支援

株式会社あおぞら銀行 札幌支店様



株式会社あおぞら銀行様は、「社会のサステナブルな発展に積極的に貢献する」ことを経営理念のひとつとして掲げ、持続可能な環境・社会の形成を目指して様々な取り組みを実施されております。
 このたび、札幌支店開設60周年を迎えるにあたり、社会貢献の一環として、さぽーとほっと基金へご寄付をいただき、「まちづくりの推進」分野の事業へ助成を行う「あおぞら銀行札幌支店60周年記念 まちづくり応援基金」を設置されました。

👑 「安田・三兼」まちづくり応援基金 👑

こどもたちの健やかな成長を支えたい

安田興業株式会社様 さんかね 三兼建設工業株式会社様



土木工事や舗装工事、水道施設工事などを手がける安田興業株式会社様と三兼建設工業株式会社様は、平成30年度に安田興業様が創業55周年、三兼建設工業様が創業30周年を迎えたことを契機として、冠基金「安田・三兼」まちづくり応援基金を設置されました。
 このご寄付は、市民活動を応援する思いから、「まちづくりの推進」分野の事業に助成いただいております。
 今回は、それぞれが創業60周年・35周年を迎えたことから、冠基金に追加のご寄付をいただきました。

👑 札幌生コンクリート協同組合 こども育成基金 👑

こどもたちの健やかな育成を支えたい

札幌生コンクリート協同組合様



確かな品質の生コンクリートを提供するため、共同受注・共同販売により安定供給を行っている札幌生コンクリート協同組合様は、設立50周年を記念し、地域貢献の活動として、子ども食堂や子どもの居場所づくりなど、子どもの健全育成に向けた市民活動を応援したいとの思いから、さぽーとほっと基金へご寄付いただき、「札幌生コンクリート協同組合 こども育成基金」を新たに設置されました。
 地域に暮らす子どもたちの健やかな育成のために、今後も継続してご寄付をしてくださるご意向です。

👑 札幌市管工事業協同組合あんしん基金 👑

水環境の保全を通じたまちづくりを支援

札幌市管工事業協同組合様



札幌市管工事業協同組合様は、水道管の維持管理業務を行っており、水環境の保全やライフラインの確保など、安全・安心への思いから、平成27年度に設置いただいた「札幌市管工事業協同組合あんしん基金」に追加のご寄付をいただきました。
 また、さっぽろまちづくり活動情報サポートサイト「まちさぽ」内に設置している、さぽーとほっと基金へのクリック募金にも令和3年4月からご参加いただいております、今回ご寄付をいただきました。

👑 株式会社宮川建設こども基金 👑

こどもたちの幸せな暮らしを願う

株式会社宮川建設様 宮友会様 株式会社宮川建設安全衛生協力会様



ビル・マンション・商業施設・医療福祉施設などの建築受注、大規模修繕・リフォーム工事などを手がける株式会社宮川建設様、協力会社の交流促進を目的とする宮友会様、建築工事の災害防止、教育訓練、広報活動を行っている株式会社宮川建設安全衛生協力会様が、宮友会 設立50周年にあたって令和4年度に設置いただいた「株式会社宮川建設こども基金」に追加でご寄付いただきました。

文化芸術の振興と次世代の育成を広く支援

株式会社セコマ 様



株式会社セコマ様は、2011年7月26日に札幌市と締結した「さっぽろまちづくりパートナー協定」に基づき、さぼーとほっと基金を通じて市民まちづくり活動団体を支援するため、継続してご寄付をいただいております。今回で13回目のご寄付となり、子どもたちの健全育成の取組や医療・福祉の推進、文化芸術の振興などを支援しております。さぼーとほっと基金への寄付以外にも、様々な活動に取り組んでおり、今年8月に実施された「第51回全国消防救助技術大会」を記念し、オリジナルボックスティッシュを発売するなど、幅広い活動に取り組んでおります。

安心して暮らせる地域を目指して

鹿島舗道工業株式会社 様



土木工事・舗装工事・水道施設工事・とび土工事などを行っている鹿島舗道工業株式会社様は、本社を構える南区を中心に、以前から地域の防犯活動などを実施されてきました。平成25年度からは、さらなる地域貢献の一環として、市民まちづくり活動に対して広く支援を行いたいとのことから、さぼーとほっと基金へ継続してご寄付いただいております。

豊かな技術力、人間性を生かして地域を支える

株式会社林工務店 様



建築事業、住宅事業、土木事業などを手がける株式会社林工務店様は、まちづくりを通してより良い地域社会の支えになるよう、企業版ふるさと納税制度にて、さぼーとほっと基金にご寄付いただきました。なお、株式会社林工務店様に、初めて企業版ふるさと納税制度にて、さぼーとほっと基金にご寄付いただきました。

子どもの健全育成のためのまちづくり活動を支援

深瀬商事株式会社 様



靴、スニーカー、バッグ鞆等の袋物、服飾雑貨、アクセサリ等の販売を手がける深瀬商事株式会社様は、札幌市への地域貢献として、子どもたちを支援する団体やNPOの活動を応援する思いから、平成30年に、その売上げの一部を寄付する「寄付つき商品」に賛同され、以降商品の売上げの一部を継続してさぼーとほっと基金にご寄付いただいております。今回のご寄付は、寄付つき商品「BOGS ボグス」の売上の一部をご寄付いただきました。

従業員一人ひとりが「地元」に想いを届ける

明治安田生命保険相互会社 札幌支社 様



明治安田生命保険相互会社様は、健康増進を応援する「みんなの健活プロジェクト」、豊かな地域づくりへの貢献をめざす「地元の元気プロジェクト」、これらの「2大プロジェクト」の一環として、従業員一人ひとりが「地元」に想いを届ける「私の地元応援募金」に取り組まれております。この取組から、こどもの健全育成のために、さぼーとほっと基金にご寄付いただきました。

施設見学で子どもの健全育成を図る活動を支援

雪印メグミルク株式会社 様



雪印メグミルク株式会社様は、さぼーとほっと基金初の“スポット訪問型”寄付の仕組みを確立していただきました。この取組は、同社が運営する「酪農と乳の歴史館」の来場者数に応じた金額を、翌年のさぼーとほっと基金に寄付していただくというもので、市民に親しまれる市民参加型の仕組みとなっております。コーポレートスローガン「未来は、ミルクの中にある。」のもと、食育をはじめとする社会貢献を展開される同社は、平成24年3月には札幌市と「さっぽろまちづくりパートナー協定」を締結し、札幌市のまちづくりに幅広く取り組んでいただいております。



助成金交付実績



多くの方の寄付に支えられ、
“笑顔づくり”に向けた活動が
多様に展開

皆様の寄付をもとに基金の助成金を
受けて実施されたまちづくり活動を
事業ごとに紹介します。

〈掲載例〉

助成団体名	
助成金額	助成事業の紹介文
写真	

団体指定

白石区ふるさと会歴史文化委員会

助成金額 824,956円



児童誌発行业

白石区内の小・中学校の児童・生徒が制作した作文、詩、絵画等を掲載した「児童・生徒創作広場白石テラス[ななかまど]」の第2号を発行し、区内の小・中学校、児童会館、図書館に配布しました。

助成金額 715,160円



さっぽろ白石片倉鉄砲隊設立検討事業

白石市の片倉鉄砲隊本隊の事業に合わせ、当隊隊員を派遣し、発砲演武の向上に努めました。また、3年ぶりに本隊員2名を招聘し、白石区制50年と都市間交流事業に発砲演武を行い、鉄砲隊の技術習熟に努めました。

助成金額 437,565円



白石郷土館展示等計画事業

各種歴史資料展示スペース「白石郷土館」では、既存史料や自ら収集した一次史料に基づいた成果物を公開しています。白石区役所の開庁時間に合わせて開館していますので、皆様のご来館をお待ちしています。

NPO法人つなぐ

助成金額 180,838円



令和4年度地域福祉を進めるための地域交流事業～第2回つなぐまつり～

コロナ禍の為、飲食や長時間の滞在を避けたお祭りを行いました。寄せ太鼓、阿波踊り、じゃんけん大会、おとな尻ずもう大会、餅まき等、地域の方々が互いの顔を合わせて楽しみ、繋がりを感ずることができるお祭りとなりました。

助成金額 82,575円



令和4年度地域福祉を進めるための地域交流事業～しらカバーたいむ「簡単に美味しく、燻製作り」～

簡易燻製器でチーズ等の燻製を作りました。出来るまでの間、音楽を聴きながらコーヒーを飲んだり、お話ししたり、うたた寝をしたり、思い思いの時間を過ごしました。長引くコロナ禍の中、屋外で三密を避け適度な交流ができました。

助成金額 76,955円



しらカバーたいむ「吉田信生ギターコンサート」

幅広い年代で楽しめるクラシックギターの生演奏会を行いました。参加者からは「コロナの中、久しぶりに音楽を聴きました」「夕々に生のコンサートにふれました」など、多くの感想を頂き、喜んでいただいた演奏会となりました。

アマチュアバンドコミュニティさっぽろ

助成金額 185,605円



みんなで楽しむコンサート

児童会館や障がい児支援施設への出前コンサート。子ども向けの音楽にこだわらず、いろいろなジャンルの演奏を企画しました。子どもたちにとって新たな音楽との出逢いの場となりました。

助成金額 123,956円



まちを元気にするコンサート2022

町内会の高齢者サロンなど、ふだん音楽に触れる機会が少ない方々に、生の音楽をお届けしました。コロナの不安が残る中でしたが、地域の方が集まり、音楽を楽しむことで、少しだけまちが元気になりました。

団体指定

一般社団法人札幌市小動物獣医師会

助成金額 4,330,770円



「人と動物が共生する社会の実現」を目指した実践活動

「札幌市動物の愛護及び管理に関する条例」第5条を実践する団体として、当会は広く市民に動物愛護精神を涵養する事を事業目的としています。特に「飼い主のいない猫の保護活動」を軸に、動物愛護・動物福祉を考えるきっかけにしたいと考えています。

ミュージック・ギフト・プロジェクト運営委員会

助成金額 1,500,000円



ミュージック・ギフト・プロジェクト 2022

生の音楽に触れる機会をもっと多くの人々に届けながら、老若男女の幅広い世代が音楽のジャンルを越えて心から楽しめるミュージック・ギフト・プロジェクトは、1日約5万人が通行する札幌駅前通地下歩行空間の特設ステージを舞台に、ジャンルを越えた生の音楽を届けました。

子ども在宅ケアネットワーク(CHC)

助成金額 1,000,000円

「子ども在宅ケアネットワーク(CHC)展」

CHCは困難を抱える子どもたちを支援する支援者同士のつながりの場をつくる目的で活動を続け、今年で10年目となりました。これまでの取り組み、子どもたちと支援者たちの写真や動画を展示するイベントを開催しました。



holoholo

助成金額 743,915円

大人も子ども心のケア：講演会&ワークショップ&ピアサポート

DVや虐待被害からの回復支援として、「アタッチメント(愛着)とレジリエンス(回復力)」というテーマでの講演会や、親との離別を経験した子どものためのワークショップ、DV講座やピアサポートグループ等を開催しました。



ミライサイクルさっぽろ実行委員会

助成金額 563,231円



未来の自転車環境を考え・行動するコミュニティづくり「ミライサイクルさっぽろ」

コロナ禍で改めて自転車利用に注目が集まっているなか、さっぽろホコテン(令和4年7月30日)において自転車シミュレーターやボードゲーム等の体験コンテンツの実施を通じて自転車ルール・マナーの啓発活動を行いました。

特定非営利活動法人ハンズハーベスト北海道

助成金額 550,000円



フードバンク活動

5月13日～15日までの3日間市内在住の「ひとり親家庭」のお子さん(0歳～18歳まで)845名にお米とお菓子・日用品・図書カードなどを配布しました。多くの方々のご支援により最後の活動ができましたことに感謝いたします。

北海道少年軟式野球連盟

助成金額 2,437,668円



TAIYO GROUP杯争奪全道少年軟式野球選抜大会

当大会を開催するにあたり各支部で予選大会を実施し、全道大会を開催いたしました。優勝チームは翌年のIBA世界大会国内予選に北海道代表として東京で開催される大会に出場します。

NALC(ナルク)札幌

助成金額 1,100,000円



ナルク札幌さくらんぼ創立25周年記念行事

ナルク札幌さくらんぼは創立後25年を経過したのを記念して、今後人生100年時代に充実した人生を送るため、堀田力氏による記念講演会とパネルディスカッションをホテルロイトン札幌にて開催し、130名が参加しました。

特定非営利活動法人子どもサポートどろんこクラブ

助成金額 833,940円



障害理解のための啓発・啓蒙活動

地域の方々や障がいを持った子ども達と一緒にスポーツを行うスポーツチャレンジと、クラブで日常の活動に取り入れていたゴミ拾いに地域の方々にもご参加いただき、障がいについて理解していただくきっかけとなりました。

八軒連合町内会

助成金額 621,701円



八軒地区高齢者社会緊急災害時の対策支援講習会

災害時に地域に住んでいる高齢者が、どのような対応ができるのか、地域の皆様が安心・安全に生活することを目的とし、講習会を開催しました。寄付をいただき、ありがとうございました。

北海道文化団体協議会

助成金額 560,000円



第64回北海道文化集会、北海道・中国黒龍江省国際交流事業(日中国交正常化50周年記念)

「展示する音楽と奏でる美術～アートを心の力に。知ってつながるアートの輪～」をテーマに、道立近代美術館において講演・トーク・演奏会・ワークショップ・動画放映・展示等を開催。市民に様々なアート体験と、文化の相互理解を深める機会を提供しました。

北海道容器包装の簡素化を進める連絡会

助成金額 500,000円



容器包装の簡素化を進める啓発事業

札幌市役所やイオン北海道苗穂店をはじめ、市内6カ所で容器包装の簡素化展示やアンケート、プラスチックごみについての勉強会を行い、多くの市民へごみ減量及び資源の節減につながることを伝えることが出来ました。

助成金交付実績 団体指定

子育て支援ワーカーズぐるんぱ

助成金額 425,931円

0才からのジャズライブ

地域の親子向けに、子育て中はなかなか経験できない生のステージを楽しんでほしいと開催しました。生の楽器の迫力を感じたという子どもも直筆の感想や、また聴きたい、子どもだけでなく親も元気をもらった等の声が聞かれました。



特定非営利活動法人手と手

助成金額 350,000円

農業や肥料に頼らない自然栽培講座

アレルギーなどの症状に悩む人が増加しています。そこで、札幌市民の皆さまを対象に、家庭菜園レベルで、農業や化学肥料に頼ることなく野菜を作ることができる自然栽培講座を開講。反響も大きく、関心のある方が多いことを知りました。自分で野菜を作る楽しみ、環境に対する考え、食べるものに対する考え方が学べる内容です。



定山溪沿線町内会連絡協議会

助成金額 248,500円

「小金湯さくらの森」と周辺地域の知名度向上事業

令和4年度、南区地域の児童会館3箇所(常盤・藻岩・澄川小ミニ二児)と石山地区敬老団体(石山サロン)において新しい紙芝居「のんのとオムラサキ」の読み聞かせ会を行い、知名度アップと魅力を伝えることが出来ました。



特定非営利活動法人北海道若年認知症の人と家族の会

助成金額 200,000円

「ひまわり通信」の発行

誰もが認知症になりうる時代です。認知症があっても、はたらく場や社会的交流でいきいきと過ごすことができます。そのことを紹介し、支援へつなげていきます。市民にむけては若年認知症への理解を深められるように努めます。



特定非営利活動法人難病支援ネット・ジャパン

助成金額 200,000円

難病支援ネット・ジャパン機関誌「ななかまど通信」発行事業

私たちは難病の患者団体、支援者への情報提供や研修事業などを行っております。助成金で機関誌「ななかまど通信」第20号を発行することができ、心より感謝しております。難病でも笑顔で暮らせる社会を目指して参ります。



NPO法人ニャン友ねっとわーく北海道

助成金額 163,207円

地域の生活衛生環境を向上するTNR事業

動物が好きなのも嫌いな人も「共生できる生活環境」を実現するため、外で生きる猫の繁殖制限を行うのがTNR活動です。当会正会員が相談を受けた地区において成猫の避妊去勢手術を行い、地域猫管理の適正化を推進しました。



北海道身障者スキー連盟

助成金額 380,859円

第44回全道ハンディキャップスキー大会

4年ぶりの開催となり参加人数はいつもより少なかったですが、全道各地から選手が参加し、競技を楽しみ、再会を喜び合い、交流を深めることが出来ました。



NPO法人わんハート 尊い命達と共に

助成金額 255,250円

札幌市の犬・猫が幸せになり、札幌市民と楽しく暮らせる世の中を目指す活動

札幌市で放棄される犬や猫が多くなっています。このような悲しい現実を目の向け、札幌市民や飼い主が命をつなぐ活動を知り、動物愛護や動物福祉を考えると共に犬・猫の救済と小学校の総合的な学習での啓蒙活動を行う活動です。



特定非営利活動法人北海道ライフスポーツ推進協会

助成金額 220,000円

第5回さっぽろ夏マラソン

コンパクトなイベントでもやっていける事をアピールし、「走る」という取り組みやすく、運動効果も高いマラソン大会を通じ、体力の向上及び健康増進を提供する事ができました。ご支援いただいた皆様、運営委員会の皆様に感謝申し上げます。



特定非営利活動法人北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

助成金額 200,000円

学びと成長支援必要児及び保護者への居場所提供

子どもや親達が生きづらいつ時代、様々なニーズに沿いながら2回「居場所」を提供しています。小・中学生、若者向け「お家」は通算21回参加117名、親向け「カフェ」も通算23回143名を受入れ、コロナ禍を配慮しつつ各区からの来訪者に「学び、交流、相談」をサポート中です。



中央地区町内会連合会

助成金額 192,500円

防災力アップのための防災セミナー

「気象報道最前線～札幌で多発する異常気象～」というテーマで、防災セミナーを開催しました。近年の異常気象の原因や異常気象と地震の同時発生を想定することの重要性などについて学ぶ機会となりました。



特定非営利活動法人SEMIさっぽろ

助成金額 150,000円

札幌在住外国人への医療通訳派遣事業

札幌市内の医療機関に受診する外国人に同行して医療通訳を行っています。様々な診療科及び保健センターでの予約から診察、各種検査、出産にかかわること、予防接種、処方箋など診療終了まで対応しています。



特定非営利活動法人藻岩山きのご観察会

助成金額 150,000円

菌類普及啓発事業

当団体は森林を大切に、ゴミ拾いをしながら、きのご観察会やイベント「家族きのご観察会」を実施。また、地下歩行空間や森林管理局、さとらんどでも多くの市民にきを学んでいただくためのきのご展を実施しています。今年も、助成企業のさくら佐藤建設様と共同で花壇の整備、環境保全活動を継続実施しました。



東月寒まちづくり協議会「童夢」

助成金額 105,830円

童夢キッズシアター

劇団風の子による演劇「おひさまおはよう」を鑑賞しました。子どもたちが生の芸術に触れることができるこの事業ですが、2人の演者による全身を使った演技に子どもたちはほとんど引き込まれ、一緒に手を動かし、声を出して、夢中になって観ていました。



厚別点訳サークル「すずらん」

助成金額 100,000円

厚別点訳サークル「すずらん」発足30周年記念「小説を旅する 北海道」点訳・点訳書寄贈事業

会発足30周年を記念し、道内が舞台の小説61作品が掲載された原本を、視覚障がい者の方々のために点訳・寄贈し、大変喜んでいただきました。ご支援ありがとうございました。今後も活発な活動を続けて参ります。



札幌藤野多世代交流ラボWAO!

助成金額 91,706円

「ふるさと藤野」の魅力共有し子育て世代の交流を深める事業

令和4年度私たち札幌藤野多世代交流ラボWAO!では「ふるさと藤野」という帰ってきたくなくようなあたたかさ溢れる藤野の地域性を多くの方に知っていただき、共感、実感していただけるよう活動してまいりました。これまでコロナ禍により自粛していた子育て世代の交流を深める「親子レク」も実施することが出来ました!



秋桜「地域を花でかざろう会」

助成金額 31,851円

藍の生葉染講習会

藍の生葉を、浸す・干すを繰り返していき、布がだんだんと藍の色になる様子に、参加者から喜びの声が聞かれる楽しい会となりました。講習会を通じて篠路の伝統である藍染を継承していただけるのほか、技術継承者の育成にもつながる貴重な機会となり、ご支援に感謝いたします。



特定非営利活動法人消費者支援ネット北海道

助成金額 20,000円

消費者被害の通報受付

消費者被害の実態を調査するため、不特定多数の消費者からの通報を受け付け、事業者の不当約款使用の差止請求や事業者が不当に得た利益の返還を求める事業を行っています。2022年度は年間152件の通報を受付、20事業者に対し、返金の申し入れや不当な約款の使用の差止の申し入れを行っています。



特定非営利活動法人「飛んでけ!車いす」の会

助成金額 144,030円

多様性の実現に向けて(星園プラザの横繋がり地域)に向けてのイベント発信

市民活動プラザ星園には、NPOや民間団体が多数入居しており、ゆるいつながりがあります。当会のキーワードである「国際協力・多文化理解」として、「ハロウィーン」と「車いすで動く」イベントを市民活動プラザ星園で開催しました。



特定非営利活動法人はる

助成金額 100,000円

コミュニティカフェ

様々な学びの環境下にいる子どもたちに対して、楽しみながら学ぶ場を提供したり、「食」や「ものづくり」をきっかけとして、コミュニティを広げたりすることを目的としたイベントを7回行うことが出来ました。ご寄付いただき、ありがとうございました。



特定非営利活動法人北のごみ総合研究所

助成金額 100,000円

空き家対策「元気うちにお家を片付けよう」推進事業

桑園SDGs環境ひろばにて、お家のお片づけ及びごみ減量相談窓口を開設し市民の相談を直接受け、勉強会講師の派遣やお片付けの啓発展示を行いました。



東月寒地区町内会連合会

助成金額 55,000円

羊丘小学校カーリング体験会

児童に気軽にカーリングを体験してもらうことを目的に小学校の体育館でフロアカーリング体験の機会を提供し、約90人が参加しました。豊平区内に練習拠点を置くカーリングチーム「フォルトゥス」の選手による直接の指導に児童は大喜び。楽しく貴重な学びの機会となりました。



特定非営利活動法人みどりのオアシス・サポートクラブ

助成金額 30,000円

地域生活支援施設に野菜プランターを設置する活動(継続)

昨年から継続している活動です。施設の利用者は自分で簡単な肥培管理や収穫が出来るようになりました。収穫した野菜は、食堂で食材として利用しており、施設の利用者もやりがいを感じたと思います。



西岡地区町内会連合会

助成金額 19,531円

認知症啓発イベント「みんなで知ろう!支えよう!認知症」

令和4年10月2日に、地域の商業施設で認知症の啓発イベントを開催。相談先をまとめたパンフレットや啓発品の配布、パネルや福祉用具の展示などを通じ、訪れた方々に認知症への理解を深めてもらう取り組みを行いました。



団体指定

こども食堂「もくきち」

助成金額 11,350円

こども食堂「もくきち」の運営



「もくきち」では、毎月の「こども食堂」のほか、町内会などと連携して「七夕まつり」や「ハロウィンパーティー」、「クリスマスパーティー」を開催しています。今後も、こども達の笑顔のため頑張りますので、応援よろしくお祈りします。

認定特定非営利活動法人 北海道バーバリアンズラグビーアンドスポーツクラブ

助成金額 1,300,000円

地域スポーツ環境支援事業

子どもから大人まで、広くスポーツを愛する方々に活動の場などの支援を行うため、グラウンドの無料貸出を行いました。札幌市消防署や北海道警察犬審査会、スポーツ団体等の皆さまにご利用いただきました。無料貸出については、ホームページに「無料貸出」のバナーを掲示しているほか、町内会の会合等でも周知を行いました。

特定非営利活動法人 北の映像ミュージアム

助成金額 1,024,253円

映像資料の展示、公開及びそのための資料収集整理事業

札幌をはじめ北海道では、映画だけでも500本を超える作品のロケ地となっています。しかし、映画やテレビなどの映像に関する貴重な資料は、多くが個人所有のまま死蔵されています。そのような個人が所有する貴重な資料や、ロケ地や監督、俳優にまつわる物語などを整理し、広く市民や観光客に公開する事業を実施しました。

特定非営利活動法人 太陽グループボランティアチーム

助成金額 743,277円

ボランティアを通じた各分野での社会貢献活動

新型コロナウイルス感染症の影響はありましたが、実施した少年野球大会や夏祭り、養護園のスキー遠足でのボランティア活動を通じて、子ども達を始めとした、地域社会とのつながりに貢献しました。

特定非営利活動法人女性サポートAsyl

助成金額 633,148円

行き場を失った経験のある若年女性のための振袖撮影会

家族関係の事情等から、行き場を失ってシェルターを利用した経験のある若年女性を対象に、振袖撮影会を開催しました。当日は、18～25歳の女性9名が参加し、撮影した写真は後日プレゼントしました。生まれ育った環境によって、同世代が当たり前に経験できることを経験できないという格差を改善することを目的として実施できました。

札幌はまなす少年軟式野球協会

助成金額 400,000円

青少年の健全育成及び地域社会との交流を目的とした札幌はまなす少年軟式野球協会主催の野球大会助成

子どもたちの健全育成のため、少年軟式野球大会を主催し、大会参加者による豊平川河川敷での清掃活動も実施しました。子どもたちに野球の楽しさや面白さを知ってもらい、団体競技における助け合い、ルールやマナーの習得のほか、清掃活動などを通して、大人との交流の中で社会のルールを学び、感謝の気持ちを育んでもらうことができました。

札幌まるやま自然学校

助成金額 11,000円

のらっこくらぶ「畑の探検隊☆ときの森でおいもほり」



農薬や肥料を使わない自然栽培で農作物を作っている「ときの森」のさつまいも畑で親子の収穫体験を実施しました。収穫が終わった畑で泥だらけで遊ぶこともでき、畑を身近に感じる良い機会となりました。

NPOボラギャング

助成金額 1,080,000円

こどもと子育て世代の食と遊びと学びの居場所支援事業

コロナ禍により一層支援が必要になった困窮世帯や孤立家庭が増加しており、子どもと保護者の心と生活を支援することを目的に、こども食堂や学習支援、ワークショップを開催しました。こども食堂の一部を朝食の時間帯に実施することで、不登校の児童や生徒も利用しやすい環境となりました。

特定非営利活動法人おやふるはうす

助成金額 750,000円

農業体験・教育福祉事業 おやふるはうす

有機無農薬栽培による農業体験のため、市民農園を開放し、参加者には野菜の育て方等について丁寧に指導を行いました。また、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、夏祭りや収穫祭を開催し、枝豆やトウモロコシ、じゃがいも、トマト等の収穫体験などを行うことができました。

特定非営利活動法人フードバンクイコロさっぽろ

助成金額 634,919円

みんなの居場所 ポンコタン

小・中学生の「居場所」を作り、サードプレイスを提供することや、ひとり親および困窮世帯の負担軽減を目的とし、月4回、大人や学生ボランティアが子どもと一緒に、学習やカードゲーム、調理などを行いました。専用の公式LINEアカウントから告知を行うほか、近隣の小学校でのチラシ配布などを通して、事業を周知しました。

札幌市少年軟式野球連盟

助成金額 500,000円

第17回TAIYO GROUP旗争奪少年野球大会

野球を通じて、青少年の健全育成を図ることを目的に、第17回TAIYO GROUP旗争奪少年野球大会を開催しました。3日間の日程で、市内10区136チームの代表24チーム(約600名)が参加し、トーナメント方式で試合を行いました。多くの市民や少年野球ファンが応援に訪れ、大会は大変盛り上がりしました。

特定非営利活動法人 CAN

助成金額 301,800円

NPOCAN 世の中を知るシリーズ2022

若者が自らの人生で主体的に考え、幸せな暮らしを送るための基盤となる、幅広い視野を身につけることを目的とし、講演会やグループワーク、読書会を対面・オンラインの双方を活用して実施しました。講演会・グループワークでは、若手社会人の方をゲストに迎え、参加者と活発な議論を交わしました。

団体指定

福住地区町内会連合会

助成金額 230,560円

ゴミステーション環境改善事業

適切なごみ出しに係る住民意識の向上、ゴミステーションの環境改善を図ることを目的に、各ゴミステーションにゴミステーションステッカーを掲示することで、ごみの分別区分や収集日等を住民に周知しました。各町内会が中心となり、住民自らゴミステーションの見回りやステッカーの貼替作業を行っています。

特定非営利活動法人あかはなスマイルキッズ

助成金額 175,227円

フリースペース・学習支援事業

団体が拠点としている戸建物件を開放することにより、地域の子どもたちが放課後等に自由に過ごすことのできる居場所を確保し、家庭・学校のほかの第3の居場所として活用できるようにしました。学習支援事業については認知度が低く、参加者がいなかったため、他団体や町内会での集まりを利用し、今後周知を図っていく予定です。

北海道学生柔道連盟

助成金額 100,000円

令和4年度北海道学生柔道大会

札幌市内の大学をはじめ、北海道各地で活動を行っている国立私立大学の柔道部員が一堂に会し、全国大会への出場権をかけて、柔道の技を競う大学対抗団体試合を行いました。今回の大会では、会場設営から学生が関わることによって、出場校同士の親睦を深め、学生同士の友情を育むことができたと思います。

分野指定：保健、医療、福祉の推進

一般社団法人北海道健康医療フロンティア

助成金額 500,000円

日本総合医学会 第15回北海道大会



令和4年9月18日(日)、かでの2・7で開催しました。演題は「Be ambitious!」、「ロマンとビジョン」他。講師は北海道大学総長 實金清博氏、株式会社ニトリホールディングス代表取締役会長 似鳥昭雄氏、日本笑い学会北海道支部長・医師 伊藤一輔氏です。

特定非営利活動法人北海道CAPをすすめる会

助成金額 147,883円

心とからだを守るための研修事業

心の問題への対応が求められる中、心とからだを守るために日常生活の中で実践できる具体的方法を学ぶ研修を開催しました。研修では、心とからだは繋がっている、というメッセージを体感しながら、エンパワメントとレジリエンスの概念について学びました。参加者からは、身近な人への対応に生かしたいとの声がありました。

特定非営利活動法人レッドリボンさっぽろ

助成金額 100,000円

エイズ電話相談事業



「エイズ電話相談事業」は1995年に開設し、毎週火曜日19時～22時までHIV(エイズウイルス)感染に不安を持つ方、HIVに感染している方、感染がわかった方、また周囲の方などからの電話による相談を受け付けております。

NPOピーチハウス 女性と子どもの元気の輪

助成金額 182,880円

2022年度 ジェンダーの視点から未然防止アクション

若年層に広がるデートDV(若いカップル間に生じるDV)の未然防止を目的とし、ジェンダーの視点から、暴力構造や人との関係性の構築にアプローチした講座を開催しました。また、母親と子どもを対象にした性教育講座を通して、親子ともに身体に関する正しい知識を身につけてもらい、性の健康、特に性暴力の未然防止を目指しました。

特定非営利活動法人 さっぽろ時計台の会

助成金額 115,000円

札幌市立小学校4年生全児童等への社会科の副教材「札幌市時計台 なぞ! ふしぎ! 探検」冊子配布及び普及啓発事業

平成30年度より、「札幌市時計台(旧札幌農学校演武場)創建140周年記念事業」の一環として、次世代の児童等を対象に、歴史及び文化の継承を願うために実施してきました。令和3年度からは、小学4年生の社会科の授業の副読本として利用されています。今年度は、札幌市立小学校202校(分校含む)に対し、計17,529部を配布しました。

森の時間 SNOW HOKKAIDO 日本風呂敷文化〜包〜

助成金額 30,000円

命を守る防災風呂敷講座・マスクつくり・竹あかり制作デザイン

災害時に役立つ風呂敷の活用方法を学ぶ「防災風呂敷講座」、風呂敷や身近にある素材で作る「マスクつくり」体験、門松を再利用した「竹あかり制作デザイン」体験を開催しました。もしもの時に身近にあるもので命を守る方法を真剣に学んでいただき、活かすことができる市民を増やすことで、災害に負けないひと・まちづくりを目指します。

劇団HASCAP(ハスカップ)

助成金額 150,000円

劇団 HASCAP 定期公演



私たちは知的障がいを持った青年が通う「チャレンジキャンパスさっぽろ」という福祉施設の劇団です。やまびこ座で「おおい!ともだち!」(上演時間65分)を公演しました。たくさんの方々にご大きな拍手をいただき、これからの活動に大きな自信となりました。

特定非営利活動法人ニルスの会

助成金額 119,700円

「農体験」と「食」を通じた「地域共生社会」の実現 コミュニティ農園「ニルスファーム」の運営を通して、高齢者の健康づくり・生きがいづくり、および隣接する保育園の園児との多世代交流を目的に活動しています。秋には芋掘り体験会や、味噌作り会も行いました。

分野指定：まちづくりの推進

さっぽろレインボープライド実行委員会

助成金額 500,000円



LGBTパレード開催を通じた、性的マイノリティ当事者の抱える諸問題(存在の否定・孤立・社会制度上の不平等)の解消に関する事業 LGBTQの当事者、支援者、様々な社会的マイノリティに属する全ての方が手を取り合い、札幌の街を進行するプライドパレード。ひとりでも多くの方のご参加を、実行委員一同お待ちしております!

分野指定：まちづくりの推進

札幌インストラクターガイド

助成金額 350,000円

子育て親の「学びたい」と講師の「伝えたい」をつなぎ生涯学習を広げる事業

PTA活動や札幌市家庭教育事業における親育ちの学びの場や乳幼児の親への家庭教育、町内会など生涯学習をお探しの団体へ、目的にあった講座・講師の情報を届ける活動として、情報冊子の無料配布等を行っている。



札幌キノコの会

助成金額 108,037円

札幌近郊のキノコに親しみ、行政や研究機関と協力しながら食の安全を目的とした研修、キノコ展を開催、自然保護、環境保全を共有し得る連帯を図る事を目的とした事業
公開講座桜山キノコ研修会を27回開催、937名が参加し、キノコ435種を鑑定しました。南区きのこ展では207種、豊平きのこ展では181種、円山動物園キノコ展では204種を鑑定、一部は道立衛生研究所の他大学等に提供しました。新種キノコ2種を発見出来たことにも感謝申し上げます。



特定非営利活動法人札幌歩こう会

助成金額 160,000円

第26回北の都札幌ソーデーウォーク大会のメインテーマは「ウォーキングで人生100年時代に向かって歩こう」。コロナ禍でしたが、道外からの参加者が88人(全体の12%)おり、札幌での開催を心待ちにしていたウォーカーの期待に応えられたことの意義は大きかったです。



第26回北の都札幌ソーデーウォーク・ファミリーコースを保護者と共にはしゃいで歩く子供たち(中島公園周辺にて)

一般社団法人北海道二期会

助成金額 100,000円

北海道二期会 ゴールデンコンサート
道内トップレベルのオペラ歌手5人による、世界5か国の歌曲を聞き比べるコンサート。
来場者の皆さまからは高い評価をいただき、このような演奏会を是非続けて欲しいとの声を早速いただきました。



北大金葉祭実行委員会

助成金額 12,896円

第11回 北大金葉祭
観光名所である北海道大学いちよう並木を黄葉の美しい時期に全面ライトアップすることで、多くの地域住民や観光客に北大の魅力を発信しました。飲食・緑日屋台も出店し、様々な方に楽しんでいただきました。



ちびぽっく

助成金額 388,636円

ママとわたし! アートでココロまんまる!!

私たちちびぽっくは、小学生親子を対象に、のびのびアート表現をする場を厚別区で提供しています。今回の事業では、提案するワークや、出来上がった作品を見てつい笑顔になってしまうようなアート表現を1年を通して行いました。



北海道NGOネットワーク協議会

助成金額 200,000円

北海道国際協力フェスタ2022 [Respect for Human Rights And Diversity(世界の人権と多様性を尊重しよう)]~守ろうみんなの宝物~

今年は「人権」をテーマで開催。オンラインプログラムではウクライナ、ミャンマーの現状についてゲストを迎えて伝えてもらい、3年ぶりの地下歩行空間での対面開催では、北海道の国際交流・協力団体が自分たちの活動を紹介しました。



分野指定：文化・スポーツ・観光・経済等の振興

北大白銀祭実行委員会

助成金額 213,040円

第2回北大白銀祭

北海道大学の中央ローンにおける雪景色を活用した様々な企画を実施しました。メインイベントのプロジェクションマッピングや、LEDライトアップなどに加え、飲食屋台や雪像工作ブースを設けました。



札幌市東区文化団体協議会

助成金額 150,000円

第35回記念邦舞まつり、第45回記念オータムフェスティバル、年次会報「ふれあい第33号」の発行
伝統芸能を継続することは大変なことで、特にお金がかかります。さらに、レベルを上げるためには舞台が必要であり、観客なしでは夢を与えることもできません。東区文化団体協議会の会員は芸術を求めて邁進しております。

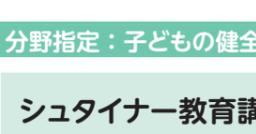


札幌彫刻美術館友の会

助成金額 90,000円

野外彫刻ガイドブック「ぶらり札幌彫刻めぐり」の刊行

札幌市内には、500点余りの野外彫刻が地域の公園や街角に散在しています。人口200万を数える国際文化都市サッポロの市民に街中の彫刻に親んでもらうため、各地に点在する作品から選りすぐりの野外彫刻に解説文を添え、野外彫刻ガイドブック「ぶらり札幌彫刻めぐり」を刊行しました。



分野指定：子どもの健全育成

シュタイナー教育講座

助成金額 500,000円

シュタイナー教育講座

小学生を対象にシュタイナー教育の授業を開催。「教育は学問ではなく、芸術であるべき」との観点から、子どもたちが生き生きと世界に関われるような芸術的授業を実践。「エポック・手仕事・オィリュトミー」を通して、子どもたちは心身豊かに成長しています。



一般社団法人A-bank北海道

助成金額 321,000円

アスリート先生

主に引退したアスリートを小中学校等の体育授業に先生として継続派遣する事業です。直接児童生徒に指導し、教員の指導力向上も目的としています。また、アスリートのセカンドキャリアの課題を解決する糸口ともなっております。



分野指定：子どもの健全育成

一般社団法人サステナビリティ・ダイアログ

助成金額 286,000円

宇宙船地球号ミッション! 2022夏~SDGs環境ワークショップ~

子どもたちと共に学び合うSDGs環境教育講座を開催。小学生がチーム単位で話し合い、知恵を絞って自分達の宇宙船を作る過程の中で、他地域とも交流し、話し合い、聴き合い、発表の仕方などを練習していく場となりました。



ガールスカウト北海道第17団

助成金額 100,000円

野外での自然体験活動を通して、少女と若い女性一人一人が持つ可能性や能力を社会の中で生かす自己肯定感向上事業

野外をフィールドに「やってみたい」ことを子どもたちが企画。環境問題をテーマにした屋台を出し、地域の皆さんと交流しながらカルタやクイズやゴミ分別クイズなどを楽しみました。企画・実行・ふりかえりの体験をとおして、自分らしく生きられる女性に成長する場をつくることができました。



NPO子ども達による「花いっぱい健康な町づくり」

助成金額 56,507円

NPO子ども達による「花いっぱい健康な町づくり」

子ども達と、一輪の花との出会いから生まれる物語です。美しい花に出会った子ども達の、純真な心の輝きが、お花とお手紙のプレゼントを受け取った、お年寄りの心に喜びを届けます。その喜びの笑顔を見た子ども達が、人を喜ばせる事の楽しさを体験致します。



冠基金:北ガス 札幌市を元気に!まちづくり応援基金

トリプルアイ

助成金額 170,000円

札幌市内の企業・団体向け盲導犬啓蒙イベント~コロナ下での実証実験

金融機関、小中学校で演奏会(一部リモート)付き盲導犬出前講座を計3回開催しました(金融機関ではロビーでのパネル展も同時開催)。コロナ禍での実施ということで、企業・団体を対象とし、効果を高めることができました。



冠基金:道路工業株式会社 夢クリエイティブ基金

札幌人形劇協議会

助成金額 300,000円

人形劇フェスティバル 2023年さっぽろ冬の祭典

市内のアマチュア人形劇団等がより良質な人形劇を提供しようと、年に1度合同で大規模な作品創りに取り組んでいます。41回目となる今回は、「真冬に春がやってきた~おやゆびひめ」を生演奏と共に上演好評でした。



特定非営利活動法人札幌チャレンジド

助成金額 155,790円

Sapporo・チャイルド・ライツ2022(SCR2022)

子どもに関わる活動をしている7団体が協働で、「子どもの権利」について考えるきっかけを社会に投げかける事業です。趣旨にご賛同いただいた19書店にて、「児童虐待防止推進月間(11月)」にSapporo・チャイルド・ライツのブックカバーを5万枚配布したほか、「子どもの権利を考える」フォーラムも開催しました。



さっぽろキッズイベント CoCo

助成金額 200,000円

ものづくりとコミュニケーションで親子の絆を深める事業

私達の事業では、子供とママが少しでも外に出るきっかけになるように親子で楽しめるイベントを企画しています。手形足形アートで我が子の成長を見つめたり、季節の文化的な行事を楽しんでもらえる活動を行っています。



ときわ里山倶楽部

助成金額 71,250円

里山活動を通じて子供たちが森に触れる体験を手助けするとともに天然素材の利用を学び、動植物の観察能力の向上を図る活動

里山体験や自然観察、里山で収穫した植物を利用したかご作りを実施しました。参加者には、里山の四季に触れ、自然の恵みのありがたさを知ると同時に、自らの工夫により、使えない無駄なものと思っていた天然素材を色々な形で有効利用する技術や発想を身につけ、エコな「自然との共存」について学んでもらうことができました。

冠基金:さくら佐藤建設株式会社 夢 みんなのまちづくり応援基金

特定非営利活動法人カルチャーナイト北海道

助成金額 280,000円

カルチャーナイト2022

カルチャーナイトは、みんなで創る「まちの文化祭」です。市内の公共・文化施設、企業施設を一日だけ夜間開放するほか、地域文化を学べる動画を配信。約8千人の来場と動画再生数は約1.7万回となり、多世代の方に楽しんでいただきました。



真駒内駅前のまちづくりを考える会

助成金額 59,037円

連続講座「真駒内駅前のまちづくりを考える」(勉強会)

真駒内駅前の再開発は地域住民の関心が高いが、住民同士がどのように考えているか知る機会が非常に少ないです。再開発計画案と一緒に考え、お互いの理解を深めることと、計画案に住民の意見を反映させることを目的としました。



特定非営利活動法人なごみ

助成金額 180,000円

不登校・ひきこもり児童生徒の訪問支援から始まる一歩を支援していく事業

不登校・ひきこもりの児童生徒が一歩自分から踏み出せることを目的に、現在のコロナ禍における社会的ニーズを汲み取り、「居てくれるだけでいい」という存在価値を認めてあげる居場所づくりを行っています。1泊2日の親子体験型レクリエーションやオンライン体操教室を開催しました。

冠基金:「あなたが健康だと、だれかがうれしい」健康応援基金

ピンクリボン in SAPPORO

助成金額 200,000円

ピンクリボン in SAPPORO2022

医師によるミニ講演をはじめ、マジックや大学生による音楽ステージや手作り作家と野菜販売マルシェなどを行いました。会場では1,000名以上に啓発リーフレットを配布し、幅広い年齢層にお楽しみいただきながら乳がん検診の大切さを伝えました。



ミトプロムジカ

助成金額 **485,278円**

2022年 1st MIT' OPERA 2夜連続公演「オペラってこんなに面白い!」 OPERA GALA CONCERT In 時計台

広く市民にオペラの魅力に親しんでもらうことや、若手の演奏家に研鑽の場として、演奏の機会を提供すること等を目的に、複数のオペラから広く知られている曲目を選び、お届けする「OPERA GALA CONCERT In 時計台」を2日間開催しました。新型コロナウイルス感染症対策を講じ、2日間で156名のお客様にご来場いただきました。

劇団 風蝕異人街

助成金額 **300,000円**

劇団 風蝕異人街創立25周年・寺山修司没後40年記念事業「毛皮のマリー」



この助成事業は、初日を迎える前に全ステージ完売しました。劇団創立25周年事業、そして旗揚げ時の目的である寺山修司作品の継続上演に、多くのお客様に賛同いただけたと思います。今後も作品創りに邁進致します。

特定非営利活動法人北海道歩くスキー協会

助成金額 **183,988円**

第48回道民・札幌市民歩くスキーの集い兼第9回滝野公園クロスカントリースキー記録会



令和5年2月23日に国営滝野すずらん丘陵公園つどいの森で、2大会を統合して初めて開催しました。記録会の部を17km、11km、6kmの順番で、その後、歩くスキーの部を11km、6km、3kmで密を避けて実施し、参加者全員が怪我なくゴールしました。

特定非営利活動法人 農村と都市を結ぶ応援団

助成金額 **180,000円**

子供が体験を通して北海道の歴史と農業を学び理解を深めることへの応援事業



南区果樹農家や札幌市アイヌ文化交流センターでの「札幌農業再発見とアイヌの歴史と文化を学ぶツアー」で、さくらんぼ収穫加工体験とアイヌ歴史を学び、道庁赤れんが前庭での「農業・農村ふれあいフェスタ in 赤れんが」で、北海道農産物や加工品のパネル展や大型トラクターなどで北海道農業を体験していただきました。

特定非営利活動法人三角山

助成金額 **500,000円**

第9回いっしょにね!文化祭



障がいのある人もない人もいっしょに楽しむ発表会「いっしょにね!文化祭」。リモート出演やオンライン配信を加え、多くの方々文化祭に参加できました。外出が困難な方も自宅で文化祭に参加でき、広がりを見せています。

特定非営利活動法人 ホッカイドウ・アニマル・ロー

助成金額 **164,250円**

ペットと共に始める飼い主の終活事業



ペットの終生飼養及び高齢の飼い主に大切な「終活」の学びを通じて、共有・交流を深めることを目的に、ペットと共に高齢飼い主自身も安心した豊かなペットライフを送るためのセミナーを実施しました。

一般社団法人福祉システム北海道

助成金額 **200,000円**

福祉従事者を対象とする就労継続サポート事業



介護職員のスキルアップに伴い、介護サービスを利用される方の心身の維持・向上を目的として、各分野のプロ(ラジオパーソナリティから人間関係や写真整理アドバイザーから写真整理など)から専門技術を学びました。

ハンディキャップシアター>Show Time

助成金額 **71,029円**

ハンディキャップシアター>Show Time公演



私たちは知的障がいを持った青年が集まり結成した劇団です。「ヒロキの陰謀」「人の話は最後まで」「ミッフィーの夢」の三部作を札幌市教育文化会館小ホールで上演しました。たくさんの方々に見に来ていただけようこれからも活動していきます。

特定非営利活動法人 農業塾風のがっこう

助成金額 **220,000円**

保育園児・小学生野菜づくり体験及び地域高齢者交流事業 例年、保育園児、小学生の体験を中心に行って来ました。今年は、地域高齢者の方々にも多くご参加いただきました。地域の高齢者の方々、自分が子どもの時の様子や、なぜこの野菜を育てたか、など歴史的背景も説明し、子どもたちも理解を示していました。



おもちゃクリニック

助成金額 **100,000円**

おもちゃクリニック活動の拡充



おもちゃの修理数は年間1,500件ですが、少しでも地域の要望に沿うよう努力しているところです。皆さまからのお心遣いがなければ活動の継続は不可能ですので、これまで同様よろしくお願いいたします。

NALC(ナルク)札幌

助成金額 **235,750円**

シニアサロンさくらんぼの文化祭とサロン交流会



認知症予防と健康寿命をもっと延ばそうのスローガンで、講演・男声コーラスの歌・更にピンコロ劇団による笑劇の内容で87名の地域の方々の参加を得て、盛大に開催でき楽しい思い出りに役立ったと思います。

ていねキママ食堂

助成金額 **100,000円**

地域の子どもも大人(高齢者)もキママに集い、支えあえる地域の居場所「ていねキママ食堂」を通じて、地域の力を集め、地域の困りごとを解決することを目的とした「支えあい・助け合い」事業 子どもだけでなく、高齢者も、子育て中の親子も皆で集って、食事を作ったり、幼児を連れてきたママは子どもをスタッフが見たり、高齢者が声がけしたりで、一緒に食事を楽しみました。



モノバンク札幌

助成金額 **110,000円**

ありがとうパトン(不用品マッチング)事業



家庭で余剰している「モッタイナイモノ」である衣類や絵本を回収し、提携する児童養護施設等へお渡しして活用いただく他、絵本交換会等の開催でモノの循環・サステナブルを考えていただく機会を提供しています。

特定非営利活動法人 道産子ヒーロープロジェクト

助成金額 **308,745円**

道産子ヒーロー・ソーランドラゴンや忍者の教育巡業事業



各種出前授業&教育出演が14回、PR出演1回(市民活動サポートセンターNPOマルシェ)自主企画1回、合計16回の出演を実施できました。また、新たな取り組みとして、復習プリントを作成しました。

さっぽろアートビーンズ

助成金額 **230,000円**

さっぽろアートビーンズ10周年記念展

さっぽろアートビーンズ設立10周年を機に、道内で活動するアーティスト30名による展覧会・ワークショップ・制作パフォーマンスを開催。新聞にも紹介され、地域のアートの魅力を発信し、文化的な交流を深めました。



フェアトレードフェスタ in さっぽろ 実行委員会

助成金額 **2,970円**

コロナを超えてフェアトレードタウン札幌3周年記念フェアトレードフェスタ 2022



2002年に始まったフェアトレードフェスタinさっぽろは、コロナ禍の2年間のオンライン開催を経て、3年ぶりに対面で開催し、札幌市が日本で5番目のフェアトレードタウンに認定されて3周年を祝うことができました。

どさんこスポチャンクラブ

助成金額 **209,000円**

地域で支え合うコミュニティーづくり「こどもの居場所づくり」

清田里塚地区で、スポーツチャンバラを通じて子供たち・保護者に憩いの場を提供し、地域貢献、青少年育成に寄与することを目的とした事業です。遊び感覚から始めることができるスポーツチャンバラはルールが簡単で、生涯スポーツとして小さな子どもから大人まで一緒に取り組み、ストレス発散し元気が出る効果があります。

特定非営利活動法人 レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク

助成金額 **100,000円**

ひきこもり当事者による高齢家族介護を考える事業



令和4年8月20日(土)両親の介護等をしてきた当事者講師を招聘し「両親の見送り体験から語る8050問題対応」を開催し47名が参加した。ひきこもりは生きていること自体が仕事など力強いメッセージを受け取ることができました。

N1モードグランプリ実行委員会

助成金額 **360,000円**

第13回N1モードグランプリ2022

N1モードグランプリは、ファッションの面白さ、デザイン・服づくりの楽しさ、チャレンジすることの大切さ、そして衣服の重要性を感じてもらい、北海道から、日本から、世界に通用する人材を発掘、育成することを目的に、開催しています。



一般社団法人日本風呂敷文化協会

助成金額 **260,000円**

SAPPORO 風呂敷デザインコンテスト作品展示と風呂敷講座



日本の風呂敷文化伝承の為、風呂敷デザインコンテストを行い、受賞作品を実際に制作し、応募者の作品と共に展示を行い、文化芸術の関心を高め、日本の美と機能性に優れた文化を札幌から多世代に発信することができました。

新琴似音楽祭実行委員会

助成金額 **216,857円**

新琴似音楽祭



地域を元気にする音楽イベント「新琴似音楽祭」は今年で開催8回目を迎えました。新型コロナ感染拡大の影響により、内容を縮小し出演者もゲストのみとなりましたが、3年振りの新琴似中央公園での開催に、地域内外の多くの皆様にご来場頂くことができました。

特定非営利活動法人 北海道ライフスポーツ推進協会

助成金額 **0円**

小・中学校スキー学習のためのジュニアスキー教室



ブーツ・スキーの履き方といった基本的な事からグレンデを滑る技術まで、参加した子供達みんなに「楽しいスキー」を体験いただくことができました。ご支援いただいた皆様、運営委員会の皆様に感謝申し上げます。

三角山の緑を守る会

助成金額 **280,000円**

「三角山は語る」の刊行



三角山南斜面に岩盤剥き出しのまま放置された採石跡地の50年後の植生を調査し、その結果をまとめた冊子を刊行。採石事業やその中止に至る経緯、三角山とその周辺の歴史や専門家の意見などを掲載しました。

長期入院の子どもと付き添い家族を支える会

助成金額 **216,000円**

みんなの居場所~多世代交流で平常時から緊急時まで、困った時に誰もが孤立しない地域づくり~



月に2回、地域の会館で「居場所」を開設。「何もない平常時にこそ、いろんな人とつながっていることが大事」がコンセプト。場があることを知ってもらうために、午前中は体操や趣味などの無料講座を実施。多世代が交流できる場を模索しています。コロナで孤独になり、何か場を求めている高齢者の訪問が多かったです。今後は子連れの親子も増えるよう工夫中です。

冠基金:北海道自転車産業協会まちづくり基金

特定非営利活動法人ezorock

助成金額 253,043円

廃棄処分自転車をゼロに「ゼロチャリ」プロジェクト



自転車に愛着を持ち、長く利用することで廃棄される自転車を削減できるよう、自転車のメンテナンスや修理方法を伝える動画の作成や、自転車安全整備士を招いたより専門的なメンテナンス、修理講座を実施しました。

一般社団法人 hug cafe club

助成金額 333,000円

hug*cafe project



月1の子育てサロンやオンラインの「ほろままclub」など、親子で楽しめる場所や子育て中でも学べたり挑戦したりする場と、育児の楽しさや辛さを共感できる仲間づくりのきっかけを提供しました。

NPO法人ドリームキッズチャレンジ

助成金額 300,000円

コロナの影響でスポーツを始めるきっかけを失った子どもたちへの北海道初のマッチング型少年野球大会イベント「SUNYONBASEBALL大会」事業



北海道初マッチング型少年野球イベント「SUNYON BASEBALL大会」を開催。コロナの影響でスポーツやコミュニティに触れる機会を失った小学3・4年生の子どもたちにとって「スポーツを始めるキッカケ作り」と「つながりの輪」を広げる場となりました。

子育て支援ワーカーズ「べりいべりい」

助成金額 100,000円

「命についての学習」



「命についての学習」を3回に分けて実施しました。目に見えない命について学び、考え、話し合ったことで、自分も他人も愛される存在と感じられました。家族や身近な人とこのような話を話す時間が必要だと感じました。

冠基金:イオン環境基金

一般社団法人相互支援団体かえりん

助成金額 500,000円

おさがり安定供給のための常設会場設置・開催



コロナ禍により開催延期・中止が余儀なくされ、更に急激な物価高騰によりおさがりのニーズが非常に高く、必要な方へ届くよう完全予約制の常設会場を設置しました。

テーマ指定:東日本大震災被災者支援

特定非営利活動法人 福島の子どもたちを守る会・北海道

助成金額 500,000円

～親子で過ごす夏休みin北海道～



コロナ禍で3年ぶり22回目の保養事業を5家族17名の親子を受け入れて実施しました。保養にくることで気持ちが解放され仲間がいることの安心感を話してくれました。子どもたちは一緒に、虫とりや水遊びなど一日中元気に仲良く走り回っていました。

冠基金:松前孝子子ども基金

特定非営利活動法人 ソフトテニスインターナショナルサポート協会

助成金額 350,000円

ソフトテニスジュニアクラブチーム事業

札幌市内のテニスコートにおいて、小中学生を対象にジュニアクラブチーム活動を行う部活動が地域移行をしていくための受け入れができるように活動しています。札幌市内の様々な地域からの参加を受け入れ、それぞれのレベルに合った指導を行うことで、ソフトテニスを楽しんでもらうきっかけを作りました。

「和の心を子ども達へ、未来へ!」実行委員会

助成金額 300,000円

「和の心を子ども達へ、未来へ」ワークショップ&舞台実施事業

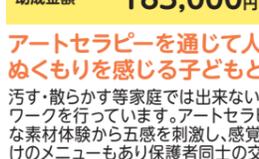


冬休みに①忍者と傘回しや獅子舞②ヒーローとCG剣舞③和太鼓奏者と和太鼓、と3日間にわたり、和芸や和楽器の体験ワークショップを行い、最終日にはプロの講師とワークショップの子ども達との合同での発表公演を行いました。

どこにもないアート教室 ちびちびぼっく

助成金額 183,000円

アートセラピーを通じて人のつながり・ぬくもりを感じる子どもと保護者の支援事業



汚す・散らかす等家庭では出来ないようなダイナミックなアートワークを行っています。アートセラピーの要素を取り入れ、様々な素材体験から五感を刺激し、感覚・感性を磨きます。保護者向けのメニューもあり保護者同士の交流の場も設けています。

冠基金:CGC子ども基金

SKIP

助成金額 240,000円

Sapporo Kids yoga Project SKIP ～カラダ・ココロ・生きる力を育む～



SKIPは、キッズヨガの定期クラスの運営、子ども主体のやりたいを形にする「SKIP祭り」の開催、サポートスタッフの育成、ダイヤモンドクラスとして食育、日本の文化である「味噌作り」を行いました。

特定非営利活動法人 猫と人を繋ぐツキネコ北海道

助成金額 113,000円

親子と猫のボランティア体験



2015年より助成を受けている「親子と猫のボランティア体験」を今年度も無事に開催できました。コロナ禍で、感染対策を強化し参加者も数組に絞っての開催でした。初めて「移動手術車」を用いて皆さんに楽しんで頂けました。

東日本大震災復興支援 「子どもを守ろうよ」の会

助成金額 230,000円

第13回東日本大震災復興支援「子どもを守ろうよ」の会公演



大船渡から動画メッセージ、岩手県中組を招いての虎舞、自主避難者脚本の演劇、有志の太鼓演奏等を行いました。虎舞を通じた心の復興の意義、演劇では避難者らの心模様等を発信。昨秋会員が訪れた大船渡報告書も配布。2日間で308名が来場しました。

テーマ指定:北海道胆振東部地震被災者支援

森の時間 SNOW HOKKAIDO 日本風呂敷文化～包～

助成金額 500,000円

心ともす竹あかり&トークライブ



大切な人を想い、灯した竹あかりが沢山の人の手により広がり、災害時に役立つ備えの役割となりました。震災体験を語り風化させず未来に繋ぎ、二度と悲しい涙を流さない様願いを込めて灯し続けています。

一般社団法人札幌YWCA

助成金額 1,100,000円

ステイホームの高齢者に届ける癒しのコンサートで、新しい生活様式後も演奏活動できるような演奏家を応援する事業

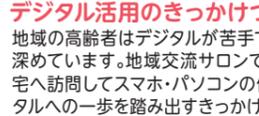


ステイホームの高齢の方が心癒されるよう、感染対策を十分に配慮した会場で音楽を楽しんで頂くことが出来ました。演奏家の皆さんには、これからの演奏活動に繋がると喜びの言葉を頂きました。助成金に感謝しております。

NPO法人たすけ愛ふくろう清田

助成金額 880,000円

コロナ禍で孤立を深めるシニアへ、デジタル活用のきっかけづくり



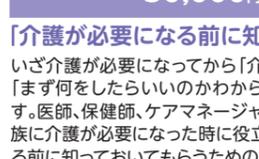
地域の高齢者はデジタルが苦手で、コロナ禍でさらに孤立を深めています。地域交流サロンでの「スマホ教え合い」や、自宅へ訪問してスマホ・パソコンの使い方を支援するなど、デジタルへの一歩を踏み出すきっかけづくりを働きかけました。

スタートアップ助成事業

特定非営利活動法人あえりあ

助成金額 50,000円

「介護が必要になる前に知っておこう」セミナー



「介護が必要になる前に知っておこう」セミナー いざ介護が必要になってから「介護について何も知らない」「まず何をしたらいいのか分からない」と困る方が多くいます。医師、保健師、ケアマネージャーが講師となり、自身や家族に介護が必要になった時に役立つ情報を、介護が必要になる前に知っておいてもらうためのセミナーを実施しました。

おやこのあそびば

助成金額 50,000円

子どもの健全育成事業



おやこのあそびばは、札幌市北区の障害のある子(幼児～高校生)の子育てママを中心に、障害の有無に関係なく、地域で遊び学び育てる力を育て、次世代の子育てに継承できるような地域づくりを目指し、遊び場活動や学び場を親子で企画し実施しています。

テーマ指定:新型コロナウイルス感染症対策市民活動

特定非営利活動法人ふまねっと

助成金額 1,717,031円

孤立や認知症を予防するオンライン交流型体操教室とICTスキル向上説明会事業



コロナ禍前後で懸念される孤立や認知症を予防する目的で、在宅で参加できる交流型の体操教室をオンラインで配信する事業と、オンラインサービスを利用するためのICTスキルを学ぶ実習型説明会を行いました。

特定非営利活動法人勇者の会

助成金額 948,001円

家族の絆プロジェクト



小児がん患者のご家族を招待し、家族全員のご褒美旅行として、室内において海や旅行へ行った気分になれる宿泊体験を行いました。退院後も家族で外に出掛けることが中々出来ない中、様々な体験で楽しんでいただきました。

特定非営利活動法人子育て応援かざぐるま

助成金額 480,000円

子育て家庭の孤立を防ぐために! 相談機能強化オンライン6講座



乳幼児家庭の孤立を防ぎ、重篤な虐待を予防するために、札幌市内で地域子育て支援拠点や利用者支援事業を担う官民40団体(50窓182名)がオンライン6講座を受講し、オンライン相談に必要なスキルを学び合いました。

一般社団法人清田区風の谷協働研究ラボ

助成金額 50,000円

最新知見に基づくキツネとの付き合い方啓発事業

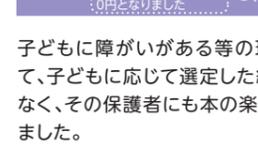


市内のキツネ出現頻度が高くなる中で、キツネとエキノコックスの正しい知識周知のため道立衛生研究所・浦口氏の講演会を開催し、地域住民、保育関係者等から好評を得ました。また、市民参加型のキツネ出現状況調査を実施しました。

特定非営利活動法人メリーライズ

助成金額 0円

はじめてのブックスタート事業



子どもに障がいがある等の理由により読書を遠ざけてきた家庭に対して、子どもに応じて選定した絵本を手渡すことにより、子どもたちだけでなく、その保護者にも本の楽しさに気づいてもらうきっかけづくりを行いました。

寄付の実績

寄付金合計 **1,561件 79,328,811円**

■指定区分別

団体指定	250件	18,411,976円
分野指定	35件	3,688,343円
新型コロナウイルス感染症対策市民活動	1件	280,381円
その他の災害被災者支援	2件	316,380円
冠基金	17件	19,234,793円
後日指定	2件	1,400,000円
指定なし	1,254件	35,996,938円

■寄付者別

個人からの寄付	1,439件	42,661,591円
企業・団体からの寄付	100件	36,667,220円

※1回の寄付で複数の寄付先を指定することができるため、指定区分別寄付件数と寄付者別寄付件数は一致していません。

助成の実績

助成合計 **130団体(138事業) 49,907,162円**

団体指定	62事業	29,526,444円
分野指定		
保健、医療、福祉の増進	5事業	1,017,583円
まちづくりの推進	4事業	1,158,037円
文化・スポーツ・観光・経済等の振興	6事業	725,936円
子どもの健全育成	8事業	1,923,393円
テーマ指定		
東日本大震災被災者支援	2事業	730,000円
北海道胆振東部地震被災者支援	1事業	500,000円
新型コロナウイルス感染症対策市民活動	5事業	5,125,032円
スタートアップ	4事業	150,000円

冠基金		
さくら佐藤建設株式会社 夢 みんなのまちづくり応援基金	1事業	280,000円
北ガス 札幌市を元気にまちづくり応援基金	2事業	229,037円
道路工業株式会社 夢クリエイティブ基金	3事業	635,790円
[あなたが健康だと、だれかがうれしい]健康応援基金	1事業	200,000円
長内 芸術振興基金	3事業	969,266円
新弘設備工業55周年記念 まちづくり基金	2事業	271,029円
株式会社水章工業 こども基金	3事業	500,000円
アリアス基金	4事業	1,000,000円
北海道循環器病院 環境さぼーと基金	1事業	110,000円
HRMホールディングスグループまちづくり応援基金	7事業	1,378,572円
札幌市管工事業協同組合あんしん基金	1事業	209,000円
オークまちづくり元気基金	2事業	496,000円
ひまわりピアサポート基金	1事業	100,000円
北海道自転車産業協会まちづくり基金	1事業	253,043円
松前孝子こども基金	6事業	1,566,000円
CGCこども基金	2事業	353,000円
イオン環境基金	1事業	500,000円

登録団体

291団体 (令和5年3月31日現在)

寄付者のご紹介

氏名・寄付金額の公表に同意していただいた方々
※公表に同意していただいた方のみのご紹介です。(敬称略、寄付順)

■吉川 正治	15,000円	■門間 健太郎	15,000円
■株式会社オーク	5,060,000円	■清水 亮平	12,000円
■岩村 治	30,000円	■勝又 匡	15,000円
■小島 弘貴	15,000円	■山本 将太郎	15,000円
■中村 卓司	26,000円	■旭イノベックス株式会社	1,050,000円
■木下 こころ	10,000円	■熊井 潤一郎	12,000円
■株式会社水章工業	101,910円	■久保 英明	15,000円
■深瀬商事株式会社	334,400円	■小橋 和宏	100,000円
■塚本 明美	11,000円	■小川 哲也	7,000円
■岩田地崎建設株式会社	200,000円	■青柳 賢	15,000円
■新田 泰三	15,000円	■浦谷 進	20,000円
■株式会社 田中組	100,000円	■小柳 幸恵	20,000円
■イオン北海道株式会社	621,123円	■中島 一幸	7,000円
■岡村 英哲	12,000円	■滝本 健太	15,000円
■田中 啓二	7,000円	■及川 秀一	15,000円
■株式会社Glocal Design	20,000円	■蓑輪 宏晃	62,000円
■牧野 真也	15,000円	■吉川 佳恵	12,000円
■木下 実紀	20,000円	■松井 誠	7,000円
■中村 和広	21,000円	■五島冷熱株式会社	100,000円
■三好 公二郎	12,000円	■田久保 渡	37,000円
■遠山 立春	10,000円	■原 拓也	12,000円
■田口 詩路麻	24,000円	■道願 翔太	15,000円
■田邊 賢二	42,000円	■久保 雄作	20,000円
■市瀬 泰治	8,000円	■鉢窪 祥公	22,000円
■株式会社ふじ研究所	500,000円	■村上 守	200,000円
■伊藤 公浩	10,000円	■名須川 昭範	20,000円
■北海道森林組合連合会	10,000円	■藤崎 草太	8,000円
■渡邊 宏治	1,000円	■鶴野 大輔	7,000円
■株式会社翔継	100,000円	■中島 祐樹	7,000円
■宮元 章裕	15,000円	■井川 拓巳	16,000円
■小倉 文昭	21,000円	■小原 理陽	7,900円
■坪田 正勝	30,000円	■宮間 史明	1,026,000円
■特定非営利活動法人フロンティアテクノセンター	31,741円	■藤川 貴史	12,000円
■ムトウ建設工業株式会社	100,000円	■岡田 朝斗	12,000円
■明治安田生命保険相互会社 札幌支社	500,500円	■米澤 秀爾	15,000円
■あんしんネット株式会社	50,000円	■益田 誠一	15,000円
■拓友建設株式会社	300,000円	■伴野 博之	100,000円
■香西 良浩	15,000円	■鈴木 幾也	44,000円
■島田 信也	50,000円	■恒川 早苗	12,000円
■北土建設株式会社	50,000円	■赤沢 光治	16,000円
■石屋製菓株式会社	90,800円	■品川 美幸	10,000円
■松山 高諭	71,000円	■北江 喜信	16,000円
■株式会社北日本ドリームズ・サッポロ	10,000円	■関根 亜矢子	7,000円
■株式会社マテック	1,000,000円	■河谷 浩志	18,000円
■アイ・リンク株式会社	251,091円	■山田 亜実	16,000円
■脇田 信子	26,000円	■川久保 智裕	96,000円
■熊谷 侑哉	10,000円	■坂本 征敏	2,000,000円
■高橋 佐京	1,000円	■株式会社セコマ	1,000,000円
■八巻 涼子	10,000円	■佐藤 範幸	7,000円
■片野 由勇岐	17,000円	■株式会社水章工業	700,000円
■笠井 慎司	360,000円	■塚本循環器ハートクリニック	50,000円

寄付者のご紹介

氏名・寄付金額の公表に同意していただいた方々
 ※公表に同意していただいた方のみのご紹介です。(敬称略、寄付順)

■ 吉岡 由佳	15,000円	■ 田中 健太郎	12,000円
■ 森本 英嗣	13,000円	■ 株式会社HYK	20,000円
■ 小田嶋 善和	20,000円	■ ダイワ整備機工株式会社	250,000円
■ 馬場 征一	10,000円	■ 大善建設株式会社	250,000円
■ 小笠原 理	13,000円	■ 北海道ロード運輸株式会社	250,000円
■ 吉田 謙司	80,000円	■ ロード機工株式会社	250,000円
■ 貝森 義希	16,000円	■ 北海道ロードメンテナンス株式会社	1,000,000円
■ 北川 香月	30,000円	■ HRMホールディングス株式会社	1,000,000円
■ マックロリ ピーター	22,000円	■ 北開工営株式会社	600,000円
■ 桑嶋 英典	30,000円	■ 松尾 洋一郎	15,000円
■ 八百坂 康子	30,000円	■ 唐金 吉弘	40,000円
■ 藤川 忠興	20,000円	■ 株式会社太陽グループ	2,250,000円
■ 木村 千佳子	13,000円	■ 札幌生コンクリート協同組合	2,000,000円
■ 野村 秀樹	96,000円	■ 井東 陽	10,000円
■ 杉山 隆俊	10,000円	■ 佐藤 修	7,000円
■ 今渡 隆成	100,000円	■ ミニさっぽろ 2022実行委員会	4,500円
■ 影山 裕史	10,000円	■ 伊藤 秀敏	100,000円
■ 菅井 裕	14,000円	■ 札幌市管工事業協同組合	1,101,760円
■ 高橋 秀樹	10,000円	■ 株式会社宮川建設	1,500,000円
■ 下川 淳一	10,000円	■ 平川 信司	30,000円
■ 平山 務	8,000円	■ さっぽろこどもサポート事業 「福服ギフト」実行委員会	73,035円
■ 畑山 大地	25,000円	■ 武田産業株式会社	100,000円
■ 森岡 伸一	20,000円	■ 株式会社林工務店	500,000円
■ 村上 史佳	10,000円	■ 株式会社キットアライブ	520,000円
■ 特定非営利活動法人 札幌市IT振興普及推進協議会	3,355,013円	■ ていぬ活用委員会	10,000円
■ 雪印メグミルク株式会社	172,610円	■ 株式会社札幌副都心開発公社	560,761円
■ 株式会社エコシティ	100,000円	■ 三兼建設工業株式会社	1,000,000円
■ ポッカサッポロ北海道株式会社	303,729円	■ 安田興業株式会社	2,000,000円

寄付者のご紹介

氏名の公表に同意していただいた方々
 ※公表に同意していただいた方のみのご紹介です。(敬称略、寄付順)

■ 田中 そうま	■ パインツリー株式会社	■ 山崎 正生
■ 北星建設株式会社	はりきゅう・きのえ	■ 小島 裕司
■ 松澤 文夫	■ 勇建設株式会社	■ 株式会社札幌夜間動物病院
■ 鹿島舗道工業株式会社	■ 株式会社札幌ドーム	■ 札幌大同印刷株式会社
■ 表野 宏和	■ 内山 美也子	■ 佐藤 義光
■ 永塚 保夫	■ 武ダホールディングス株式会社	■ 水越 貴俊
■ 北海産業株式会社	■ 道路建設株式会社	■ 高島 尚之
■ 山崎 頼子	■ 株式会社愛木工業	■ 溝垣 智規
■ アース税理士法人	■ 新太平洋建設株式会社	■ 板垣 孝雄
■ 株式会社竹原鉄工所	■ 原創建株式会社	■ 榎本 秀美
■ 北土建設株式会社	■ 清水 栄	■ 湯川 靖司
■ 大内 亨介	■ 佐藤 元章	■ 一般社団法人North-Woman

寄付者のご紹介

氏名の公表に同意していただいた方々
 ※公表に同意していただいた方のみのご紹介です。(敬称略、寄付順)

■ 佐野 真典	■ 近藤 智也	■ 加藤 由佳
■ 中西 博	■ 斉藤 哲男	■ 塚田 直喜
■ 鈴木 規之	■ 熊木 慎吾	■ 齊藤 美都利
■ 鈴木 健一	■ 守橋 千緩	■ 太刀川 晋史
■ 壇 芳彦	■ 川滝 聡	■ 田中 咲子
■ 鈴木 元美	■ 井田 敬斗	■ 中村 房子
■ 三好 紀之	■ 小谷 綾乃	■ 鳥越 日花里
■ 株式会社わらく堂	■ 山本 幸平	■ 松本 好隆
■ 水谷 直哉	■ 北野 和信	■ 佐藤 恵利子
■ 宮崎 厚美	■ 親栄電気工事株式会社	■ 田中 崇一郎
■ 本間 未生	■ 本間 真彦	■ 齊藤 真輝
■ 鳥居 孝充	■ 紺野 美和	■ 畠山 茂祥
■ 田中 豊	■ 高木 亮輔	■ 高田 勇之介
■ 岩田 健人	■ 中瀬 清	■ 高畑 理緒
■ 大野 和久	■ 永井 理絵	■ 阿左美 雄作
■ 伊勢田 康也	■ 萩原 照久	■ 大村 和哉
■ 柳田 みどり	■ 下野 哲雄	■ 粟生 久美
■ 渡辺 由佳	■ 鈴木 眞知子	■ 石木 利明
■ 若杉 亮一	■ 篠崎 洋一	■ 坂本 茂敏
■ 竹本 猛	■ 坂田 芳正	■ 松本 圭宣
■ 太田 行信	■ 野崎 由美	■ 社会医療法人医仁会 中村記念病院
■ 三徹工業	■ 五十嵐 央祥	■ 神尾 剛志
■ 高橋 杏奈	■ 大山 雅也	■ 大真エンジニアリング株式会社
■ 武藤 征一	■ 田中 恵介	■ 医療法人彰和会 北海道消化器科病院
■ 道野畑 真	■ 岡崎 美空	■ 東 尚人
■ 高田 梨加	■ 永井 伸郎	■ 築詰 徹彦
■ 佐藤 ゆみ子	■ 東方 騰龍	■ 医療法人社団 あいだクリニック循環器内科
■ 森口 由香利	■ 佐藤 久美	■ 日本緑化工株式会社
■ 株式会社宮田屋珈琲	■ 肥後 良隆	■ 一般社団法人ソーシャルペダゴジーネット
■ 菊地 弘子	■ 川口 仁	■ 株式会社クリーンアップ
■ 馬場 暁子	■ 吉田 和代	
■ 増永 さくら	■ 石田 治之	
■ 清水 美輝雄	■ 松口 裕重	

市民・事業者の皆様から、心あたたまるご寄付をいただき、
 誠にありがとうございます。

